

資料 5 - 1

第Ⅰ回要望で医療上の必要性が高いとされた 品目に係る専門作業班（WG）の検討状況 (前回会議時に検討中であったもの)

目 次

抗菌・抗炎症 WG	1
<抗菌薬分野>	
本邦における適応外薬	2

注) 今回、新たに報告する箇所は、網掛けで示した。

抗菌・抗炎症 WG

＜抗菌薬分野＞

本邦における適応外薬…………… 2

1. 抗菌・抗炎症WG

○抗菌薬分野

本邦における適応外薬

要望番号	要望者名	一般名	販売名	会社名	要望内容(効能効果等の概略)	小児分野に關係	開発要請に対する企業見解(概略) ^(注)	特記事項等
239	日本感染症教育研究会 社団法人 日本感染症学会	パンコマイシン塩酸塩	塩酸パンコマイシン点滴静注用	塩野義製薬	〈適応菌種〉 メチシリソ耐性コアグラーーゼ陰性ブドウ球菌、ペニシリソ耐性腸球菌 〈適応症〉 好中球減少時の発熱 等		有効性及び安全性について総合評価を行ったところ、外国人と日本人で異なる点もなく、本剤は要望疾患に対する治療薬として臨床現場で用いられていることを確認した。また、要望内容について、既に海外で承認され、国内外の治療ガイドラインにも記載されていること、更に、教科書に加え使用実態を示す信頼できる海外文献も多数あることから、公知申請を希望する。 しかし、本剤は重症感染症に対する最後の砦となる治療薬であること、耐性菌拡大の懸念は医療現場でも大きいと推察されることから、耐性菌拡大防止のためのガイドラインを策定し、適正使用が厳格に推進される環境が整備されることが要望された効能を追加する承認申請の前提となる。	第2回(平成22年12月13日)開発要請品目 WGで詳細に検討中。

注)専門作業班(WG)にて、提出された企業見解より適宜抜粋した。